

2021

知的資産経営報告書

1 メッセージ

私たちが携わる印刷業は情報を紙という媒体に写しだし「伝える」ための手段として始まりました。

石版印刷・木版印刷・活版印刷からオフセット印刷に技術革新とともに印刷技術も近代化し、活字を組み上げる植版作業からタイプライター、写真植字、DTPへと組版作業もデジタル化され進歩してきました。今までの印刷業は技術の近代化に伴い、紙に写し出すことを目的とする設備投資を中心として発展を続けてきました。

しかし、印刷業の役割も本格的なデジタル化を迎え大きく変化してきました。

企業の目的は「事業を通じて社会に貢献すること」「社員とその家族を幸せにすること」そして「社会の変化とともに継続すること」だと思えます。

その目的を達成するためには「人」の成長以外にはないと考えます。手段である設備や技術の近代化は「人」の成長があってはじめて活かされます。社会の変化に対応し貢献し続ける企業に欠かせないものは「人」です。

音成印刷には今まで培ってきた多くの素晴らしい知的資産が存在しています。

音成印刷という会社を通じて、社会の多くの人を喜ばせてもらいたい。

皆さんの人生を豊かにしてもらいたい。

そして、新たな時代を創り上げてもらいたいと思えます。



株式会社音成印刷
代表取締役社長

真崎俊夫

1 メッセージ

株式会社音成印刷の知的資産経営報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。専務取締役の音成信介です。

小城を中心に115年印刷を軸として生業を続けています。今は印刷情報加工サービスという業態になっています。

私はこの仕事が好きです。

可能性しかない仕事だと思っています。それは2つの理由があります。

一つは、どんな人にも役に立つことができるということ。私たちの仕事は、年賀状や名刺といった個人向けの商品から、企業のブランディング、行政や学校の広報など考えられるあらゆる人の役に立てるからです。

もう一つはタイムマシンのようなものであるということです。求められる商品やサービスは、お客さまにとって過去のこと（記録）、現在のこと（伝票や封筒などの実務品）、未来のこと（パンフやチラシ、ウェブなど未来のための情報発信）を創れるものだと思っているからです。

すごい仕事なんだと思うとワクワクしませんか？

みなさんにとっての音成印刷とはどんな存在ですか？

お客さまにとって、働くスタッフの人たちにとって、資材や、技術と併せて一緒にものづくりを行うパートナーにとってさまざまな想いや希望があると思います。

私が考える音成印刷というのは、小城、多久、佐賀県を中心に地域の未来を創造する企業だと考えています。

地域とは、お客様だけでなく、一緒に働く仲間とその家族や関連会社です。

その関わる人たちの未来を創造していくことを目指したい。

一度しかない人生を当社を通じて豊かにすることをクリエイティブの力で叶えていきたい。それを佐賀で、小城で行っていききたい。

それが私の想いです。



株式会社音成印刷
専務取締役

音成 信介

経営理念

「人ありて企業あり」

私たちは印刷・情報加工サービス業として幅広く地域社会に貢献し、社員の生活向上と心の豊かさを求めると共に誇りと活気に満ち溢れた企業を目指します

経営方針

- 1、お客様に感動を与える人づくり
- 2、印刷文化・最新技術を融合したモノづくり
- 3、「お役立ち」の提案営業徹底
- 4、徹底したムダとコストの削減
- 5、財務体質の更なる改善・強化

3 会社概要

商号	株式会社 音成印刷
所在地	佐賀県小城市小城町253-4
資本金	2,000万円
代表者	代表取締役社長 真崎俊夫
社員数	65名（グループ総数） 音成印刷40名 日之出印刷16名 エーワン9名
創業	明治38年（創業115年）
グループ会社	日之出印刷株式会社 株式会社エーワン
主な取引先	佐賀県庁、小城市役所、佐賀大学医学部 県立高等学校、JAさが、多久市役所、 その他市町、民間企業など
主要仕入先	株式会社永池、堤紙業株式会社、 株式会社キングコーポレーション、 九活印刷機材株式会社、株式会社モリサワ
取引銀行	佐賀銀行小城支店 佐賀共栄銀行小城支店 佐賀東信用組合小城支店

4 沿革

- 明治38年 初代音成今朝太郎が小城町において個人商店として創業、木版印刷による罫紙を商品として販売
- 明治44年 **活字を導入し活版印刷を始める。屋号を音成慶進堂活版所とする**
- 大正3年 2代目音成末吉就任
地元小城を中心に営業範囲を広め現在の営業基盤を築き上げる
- 昭和8年 初代今朝太郎は台湾に移り印刷会社を立ち上げる。
- 昭和10年 3代目音成熊一就任
現住所へ工場を新築移転。名称を音成印刷所とする。活版印刷機を増設し主に官公庁、農協、商店等の一般印刷に注力する
- 昭和23年 合資会社音成印刷として法人化。営業の基盤を確立



昭和時代の活版で使用した活字



組版作業をしている様子



活版印刷機で印刷をしている様子

- 昭和47年 工場を新築。オフセット部門を設置
- 昭和52年 4代目音成一郎就任
カーボン印刷部門を設置し、総合印刷業として業務を拡大
- 昭和56年 **佐賀市佐賀駅前に佐賀営業所・佐賀電算写植センターを開設。**
日本語ワードプロセッサ（初代ワープロ）と電算写植機を結びつけるソフトを開発し、画期的な印刷システムとして全国的に注目を浴びる
- 昭和57年 5代目音成妙美就任
製本部門の拡大、カラー4色機を導入



モリサワの電算写植器



導入したカラー印刷機

現在に繋がる想いとノウハウ

創業期

明治時代、和紙産業が盛んだった小城において、地域においてまだ数が少なかった印刷という事業に飛び込んだことや、木版から活版への技術導入や、事業の拡大のために、当時のフロンティアだった台湾へ事業進出するなど、創業者のベンチャー気質が伺える。

また、2代目、3代目による地域における営業基盤の確立や、モノづくり企業として活版印刷技術の導入など、常に印刷を軸にした事業を推進していた。

成長期

4代目と5代目において、現在の制作と営業の作業場になっている工場をこの時期に新築。オフセットやカーボンとしての印刷技術の向上だけでなく、前工程における印刷システムの確立を全国に先駆けて行うなど、制作への注力といった現在の会社の基礎が構築される。

創業時からの進取の社風がそれを実現させている。

4 沿革

平成2年 6代目井手真喜子就任
平成6年 株式会社音成印刷へ組織改編
県内で最初MAC、CTPを導入、制作・製版部門のデジタル化。ウェブ事業部として、Opti事業部を設立



音成印刷旧工場の様子

平成21年 7代目真崎俊夫就任
平成23年 フリーペーパーおぎなう発刊
平成25年 日之出印刷株式会社をM&A
平成27年 製版・印刷機械設備を佐賀工場へ移転・統合
本社社屋改築
令和1年 経営革新計画を策定、佐賀県に認定される
令和2年 株式会社エーワンをM&A



リフォームされた本本社屋



日之出印刷社屋外観

発展期

県内における最初のMACの導入やウェブ事業の立ち上げなど人材育成によるDTP・デザインに注力。県内の印刷業でも早い段階でウェブ事業も立ち上げる。



制作の現場

その後、企画にも注力を行い、前工程においてさらなる充実をはかる。その中で、フリーペーパーおぎなうの発刊を行い地域貢献と情報発信力の強化を行う。それと同時期にM&Aを積極的に行い、市場拡大に繋げて、現在に至る。



全社朝礼の様子（旧工場にて）



エーワン社屋外観

5 当社の事業について

内部環境について - 業務の流れとサービス -

顧客対応

お客さまの要望、課題をしっかりと捉え、予算、納期、企画内容等さまざまなケースに応じた対応を、お客様目線で行います。

様々な情報を収集して共有し、常に顧客ごとに合った企画・情報発信を提案し、付加価値の高いサービスを提供します。

担当部署

営業 企画 制作 工場

◎ ○ ○ ○

発揮している技術

- ・ 印刷知識
- ・ 積算知識
- ・ WEBデジタル知識
- ・ コミュニケーションスキル
- ・ 傾聴力

※記号の意味

業務における主担当

◎：メインでの実務対応

○：実務面でのサポート

△：知識面でのサポート

/：非対応

サービスメニュー

- ・ 個別営業対応
- ・ 案件ごとのチーム体制

企画・ディレクション

顧客の課題解決のために、市場や消費者ニーズの動向などを分析し、さまざまな手法でアイデアを出し、形にしていきます。

担当部署

営業 企画 制作 工場

○ ◎ ◎ △

発揮している技術

- ・ マーケティング知識
- ・ プランニングノウハウ
- ・ WEBデジタル知識
- ・ コーディネート力

取材・ライティング

求める情報発信を的確に行うために適切な表現で取材や文章作成を行います。

担当部署

営業 企画 制作 工場

△ ◎ ◎ /

発揮している技術

- ・ 文章力
- ・ 取材能力
- ・ コミュニケーションスキル

サービスメニュー

- ・ コンceptメイキング
- ・ プロモーション企画
- ・ ブランディング
- ・ ロゴ作成
- ・ 販促企画
- ・ コピーライティング
- ・ オウンメディア企画
- ・ 取材
- ・ 撮影 スチール撮影
- ・ 動画撮影・編集
- ・ イラスト作成

撮影・イラスト作成

求める表現をより具体化するために高いレベルの撮影やイラスト作成を行います。

担当部署

営業 企画 制作 工場

△ ◎ ◎ /

発揮している技術

- ・ 撮影スキル
- ・ イラストスキル

5 当社の事業について

内部環境について - 業務の流れとサービス -

デザイン・DTP

お客さまの要望、課題をしっかりと捉えた表現を行います。

担当部署			
営業	企画	制作	工場
△	△	◎	△

校正

伝えたい内容が間違っていないか、しっかりと確認を行います。

担当部署			
営業	企画	制作	工場
○	○	◎	○

ウェブ制作

ウェブやデジタルツール作成にも対応します。

担当部署			
営業	企画	制作	工場
△	△	◎	/

発揮している技術

- ・ デザインノウハウ
- ・ 組版知識
- ・ DTPソフト操作技術
- ・ ウェブ知識と作成技術
- ・ 文章確認スキル

サービスメニュー

- ・ デザイン
- ・ 広報編集
- ・ 新聞編集
- ・ DTP作成

校正

- ・ リモート校正システム

ウェブデザイン

- ・ ECサイト作成
- ・ ホスティングサービス
- ・ ネット通販サービス
- ・ デジタルコンテンツ作成

製版、印刷、加工

生産性や品質の向上のために、印刷の後工程をスムーズにするための気配り、工夫を常に行います。

印刷においては色の再現性や品質の確保に取組み、顧客の求める納期対応に向け、短納期などしっかりと対応し、顧客目線の加工や包装を行います。

担当部署			
営業	企画	制作	工場
○	○	○	◎

発揮している技術

- ・ 色合わせ
- ・ オフセット印刷技術（機械操作）
- ・ 加工技術
- ・ 手作業のノウハウ
- ・ 作業スピードと正確性

サービスメニュー

- ・ オフセット印刷
- ・ シール印刷
- ・ 軽オフ印刷
- ・ 宛名・ナンバリング

冊子製本

- ・ 各種加工（折/ミシン等）
- ・ 検査システム
- ・ 仕分け作業
- ・ 封入封緘
- ・ 手作業を伴う加工
- ・ 配送

5 当社の事業について

当社の強み（他社との差別化に繋がっている取組み）

ワンストップサービスで、印刷だけでなく、看板、のぼりなどサインやウェブなどを企画から、取材、撮影、デザインをトータルで行うクリエイティブ力が強みです。特に広報の制作体制は充実しており、これまでの経験によるノウハウ提供や新たな技術提案が可能です。

充実した印刷情報加工の自社体制

自社において、カメラマン、ライターを有し、お客様が伝えたい情報を企画から印刷加工までを一貫してできる自社体制を持っています。

特に広報の制作体制は充実しており、これまでの経験によるノウハウ提供や新たな技術提案が可能です。



社内における企画会議



撮影の様子



取材の様子

デザインにおけるクリエイティブノウハウ

単なるDTP制作ではなく、長年のデザインの実績はノウハウとして蓄積されており、社内におけるデザイナーも充実しています。

また、文章の間違いやより良い文言へのアドバイスを行う校正ノウハウや要望に応じたイラストや書き文字などのご提案も可能です。

ウェブ企画と制作

情報発信のコンテンツとしてのウェブ制作において企画・デザインから保守管理まで一貫して行います。



制作現場

5 当社の事業について

当社の強み（他社との差別化に繋がっている取組み）

個別配送も手掛け、要望に応じた少量多品種のものづくり

例えばDMや、送付状など宛名やバーコードなど1枚1枚個別の印刷物を短期間に作成することが可能です。送付物の封入封緘。ニーズに応じた仕分け作業などお客さまにとって手間のかかる手作業も行います。



DMなどデザインも要望に対応できます。

地域への貢献活動

長年の実績と信頼による関係性を強く持っており、地域（小城、多久、旧佐賀郡）の印刷会社としての地域への貢献を行っています。

そのことによって、口コミ波及やリピートに繋がっています。



小城市と多久市においてマスクポケットを寄贈。地域貢献活動も行います。

行政への企画コンペへの積極参加

行政の企画コンペ案件への積極参加を行い、自社の付加価値や実績を積み上げる取組みを行っています。



ネット通販の環境整備

価格における競争力をつけることで、より多様な受注確保に繋がっています。



OWNメディアの発行

自社発行媒体のフリーペーパーおぎなう事業を行い、地域貢献と自社ポートフォリオとして活用します。



5 当社の事業について

実績



佐賀県
広報広聴課様
県民だより
※H29、H30、H31、
R2年
全国広報コンクール入選

- 企画
- デザイン
- 取材
- 撮影



佐賀県
ものづくり産業課様
佐賀さいこう企業
冊子

- 企画
- デザイン
- 取材
- 撮影
- 印刷
- 製本

ここがスゴイ！
全国広報コンクール3年入賞は、県内でも弊社
が担当してからの実績！



三福海苔様
のり道楽パンフレット

- 企画
- デザイン
- ブランディング
- 撮影
- 印刷製本
- 加工



小城市総合戦略室様
小城市ポータルサイト
サイトとサイトシステムの構築

- 企画
- デザイン
- Web制作



地域フリーペーパーコンクール
優秀賞受賞



6 外部環境

現状と今後予測される状況分析

現状（2020年12月時点）

機会

顧客ニーズ

- 紙媒体依存の変化が起こっている
特にデジタルネイティブが現物の良さを知らない20代以下の若手世代の台頭
- シニア層の紙媒体への既存のニーズ

市場

- デジタル化による紙媒体の需要減
- 行政や民間から委託事業の増加

技術（デジタル化の促進）

- ネットプリントの影響でウェブでの印刷発注が容易になる
- IT等での情報発信の分野の拡大

競合、新規参入、退出

- 事業継承が出来ない中小企業の増加

自社業界

- 高付加価値化への舵取り
- 見える化での生産性向上
- 業態変革の動き

その他の変化

- 働き方改革
- コロナ禍における新たな生活様式
- 少子高齢化
- SDGsの推進
- 地球温暖化による環境への市場意識の変化

脅威

顧客ニーズ

- ネットプリントの台頭による印刷物の価値の低下

市場

- コロナの影響でイベント等の激減など民間受注に影響
- ネットプリントの影響による印刷物の価格競争の激化

競合、新規参入、退出

- フリーデザイナー等からの印刷物の業務の参入

その他の変化

- 地域における人口減

社内における状況変化

- 社員の平均年齢の上昇
- 機械稼働率半減
- 付加価値率2%減
売上前年89% 経費前年95%
- 3社体制になったことでの人員増

6 外部環境

現状と今後予測される状況分析

数年後の未来予測

未来はすべてチャンスと捉え、共創で取り組みます。

顧客ニーズ

- 紙媒体が特別なモノ→価格競争ではなく、品質重視
- ネット発注の増加（担当者がデジタルネイティブに）
- 細やかな提案・対応力が求められる

→求める品質レベル

発注の際にデザイン・編集・ライティングに関する高い精度と品質は要求される

- 所有よりシェア

市場

- ITの分野の加速（デジタル化の促進）
- デジタル化、キャッシュレス、ネット通販の拡大

技術（デジタル化の促進）

- 小ロットで高品質なものづくりが主流になる
- B2C：WEB、SNSで情報収集→探すことが面倒。情報に疲れる人も増える
- B2C：テレビや新聞での情報ソースの信頼性は覆らない
- IT化の推進による広告手段としての印刷の価値が落ちる
- 紙のメリット（見返す、後に残る）は今後も残る
- 保存してもらえそうな企画や保存性を高くするデザインが求められる
- 原稿はお客様に用意してもらえるもの→制作会社側で提案や作成が必要になる

6 外部環境

現状と今後予測される状況分析

数年後の未来予測

未来はすべてチャンスと捉え、共創で取り組みます。

競合、新規参入、退出

- ネット通販拡大による、フリーランスや個人デザイナー、企画会社の参入の拡大（細かい仕事の競争激化）

自社業界

- コンテンツ作り（動画・写真・デザイン）における競争の激化
- 価格競争からの脱却へ方向転換
- M & A や事業統廃合や廃業の増加

その他の変化

- 紙の生産減少による、価格の高騰
- 社会的な変化はこれよりもっと進む

社内の変化

- 共創思考による社内での意識改革
- デジタル化の社会変化に対応したコンテンツ制作の技術取得
- 顧客満足向上につながるさらなる加工技術のサービスの拡充
- 社員のやりがいと働きがいのある会社づくりにつながる制度改革による社内変化

外部環境の変化に対応した経営課題

これから予測されるデジタル化の推進において、地域におけるクリエイティブ企業として、より人財に注力を行っていく必要があります。

人材育成

- 社員育成のしくみ構築と充実
- よりクリエイティブ（企画力制作技術力、印刷技術力）に精通した人材を育成
- 採用の強化

デジタルコンテンツのノウハウ取得

- ニーズとして動画・ドローン撮影やライブ配信などコンテンツ作成が求められているためその設備とノウハウが必要
- ウェブシステムが弱いので補うエンジニアの育成や採用
- デジタル技術に関するアウトソーシングが必要になる

社内インフラの整備

- 3社体制になることでの情報共有
- デジタル上でのインフラ整備による業務効率化
- 採用の強化

商品・サービス企画・マーケティング ノウハウの取得

- 情報加工にさらなる付加価値をつけるため、商品やサービス企画、マーケティングノウハウを取得する（外部委託からの経験や、研修による）

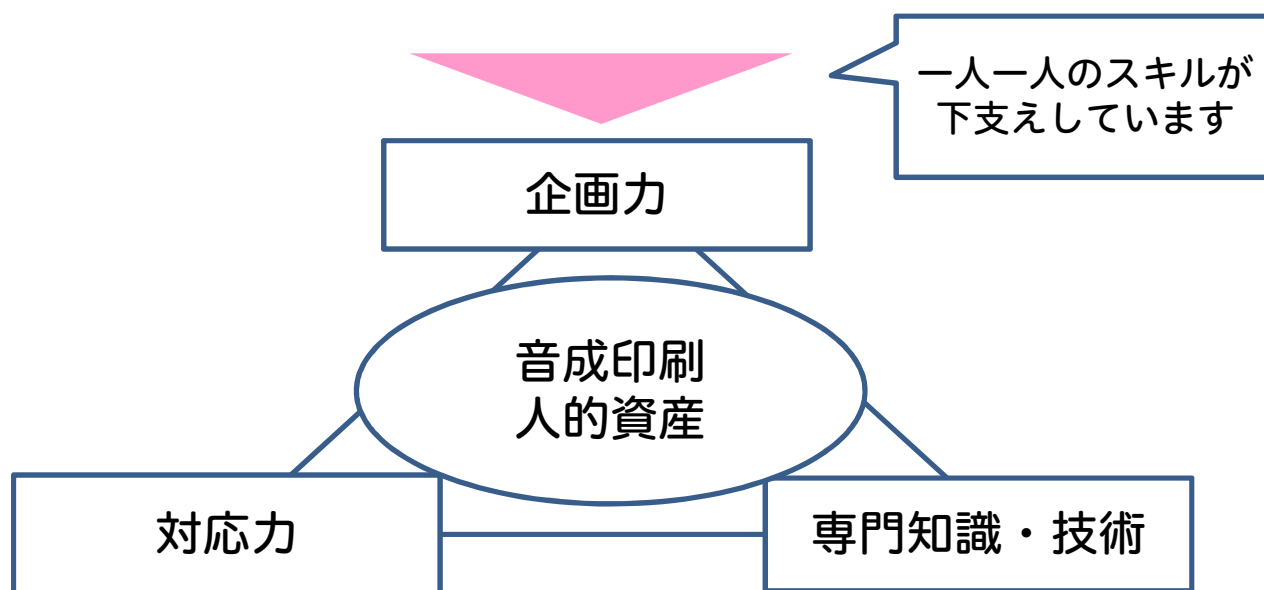
現状の人的資産

当社において価値を産む最重要資産

お客様の求める要望に際し、営業から加工まで、デザイナーのみならず、カメラマン、ライターなど様々な技術を持った人材を有し、お客様が伝えたい情報を企画から印刷加工までを一貫してできるノウハウを担保しています。

音成印刷のスタッフ一人一人が有する特化したスキル

- 顧客のニーズに細かく対応する営業力
- 他社にはない情報加工の企画プランニング力
- デザイン・クリエイティブスキルを持った人材
- 自社対応が可能な、カメラとライティングスキル
- お客様の原稿の推敲を可能にする校正力
- 印刷品質を担保できる印刷現場の職人



現状課題：

企画・デザイン・加工等のスキルやノウハウを持つ人材に偏りがあります。

当社においてもっとも注力をするポイントです。

そのため、人材育成、採用、技術の標準化など人に関する取組みはより強化する必要があります。

現状の組織資産

歴史が紡いだ進取の社風とノウハウの継承。

これまで115年積み上げられた先人たちによって当社は成り立っています。その社風は会社の理念やクレド※としてスタッフたちの指針としてあります。

またこれまで蓄積ノウハウは会社の経験値として引き継がれています。

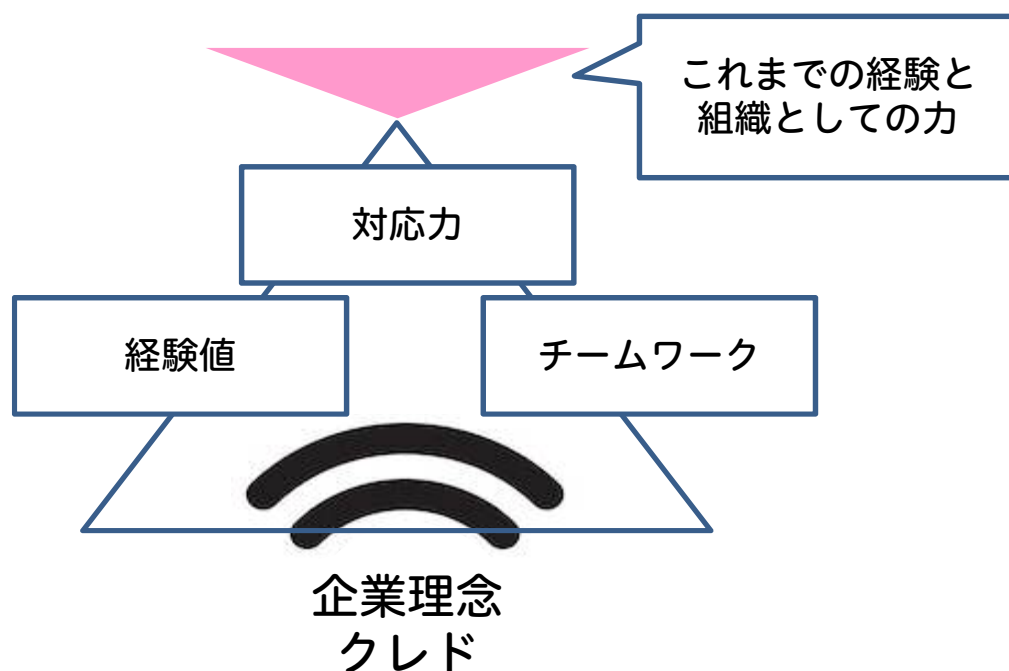
音成印刷に長年紡がれてきた企業文化

- 地域に根差した企業理念
- 会社の人々の在り方を明文化したクレド
- 人づくりを支えてきた6S活動
- 難しいことに常に挑戦する社風
- お客様の要望課題に常に応える組織力

営業：これまでの積み重ねた経験に基づく各部署への
気配りとスケジュール管理

制作：一人では不可能な仕事を可能にする組織力

工場：短納期を可能にするチームワーク



現状課題：これまでの考え方に縛られてきている部分もあるため、いかに人を育て、総合力としての組織資産を高めていくことが必要。

今後の重要課題です。

そのため、人材育成、採用、技術の標準化など人に関する取組みはより強化する必要があります。

9 価値創造のストーリー

【過去～現在のストーリー】
(2010年～2020年)

知的資産の活用状況

基本戦略

顧客へのリピート発注を軸にワンストップサービスを行い幅広く受注につなげます。(全体の6割)

行政プロポーザルなどを企画案件を軸にした高付加価値案件(2割)

行政からの見積もり・入札案件(価格競争)

知的資産

- ・ 創業115年
- ・ デザイン・広報のクリエイティブノウハウ
- ・ ウェブ制作スキル
- ・ 印刷加工の設備・技術

資産を活用して

現在価値ストーリー

ワンストップサービスで、印刷だけでなく、看板、のぼりなどサイン、ディスプレイやウェブなどを企画から、取材、撮影、デザインをトータルで行うクリエイティブ力

主な取り組み

- ・ 広報のノウハウと生産体制
- ・ デザインのノウハウ
- ・ お客様への気配りと対応
- ・ ライティング、撮影を自社一貫体制
- ・ 自社フリーパーパーおぎなう

顧客への価値

案件に対する、安心と信頼によって

- ・ 仕事に対する好評価(一つ一つの業務)
- ・ いい意味での口コミ
- ・ 信用、信頼

上記からリピート対応や新規案件に繋がる

9 価値創造のストーリー

【過去～現在のストーリー】

(2021年～2024年)

知的資産の活用状況

基本戦略

情報加工のプロ化による技術とサービスレベル向上により企業ブランド・組織力の強化を行うことによって、地域社会と地域経済の活性化に寄与できる地域密着企業へ成長します。

知的資産

- ・ 人財：社員育成のしくみと充実によるクリエイティブに精通した人材（企画、制作技術力、印刷知識）
- ・ 動画・ドローン撮影機材とノウハウ
- ・ ウェブクリエイター、システムエンジニア
- ・ 商品企画・マーケティングのノウハウ
- ・ 社内インフラ（情報共有）
クリエイティブ作成における連携できるパートナー（ウェブ、撮影、SE、イラストレーター）
- ・ 人材育成の協力機関

必要な資産

将来価値ストーリー

- ・ 企画から、取材、撮影、デザインのトータルで行うワンストップで行うクリエイティブ力
- ・ 自社フリーパーパーおぎなうとその関連サービス
- ・ 広報制作におけるノウハウ・技術の提供
- ・ 情報加工における標準化・しくみづくり
- ・ ものづくりと営業サービスの品質向上
- ・ 動画・ドローンなどの撮影技術提供
- ・ SNSへの発信ノウハウの提供
- ・ 印刷媒体の知識と技術の提案による保存性の高い印刷物の提案の拡大
- ・ 原稿作成サービスやイラスト作成などのコンテンツ作成技術の提供
- ・ 作業標準化（営業スキル、制作ルール印刷技術の見える化、総務経理の業務）と情報共有ができるITインフラ
- ・ 社員一人ひとりのスキルアップと意識改革
- ・ ウェブだけでない、ITスキルの技術習得と提供

顧客への価値

地元小城、多久を中心とした佐賀県内の行政団体、民間企業に対しての価値提案を行う

- ・ 顧客に役立つ情報発信のノウハウ
- ・ 顧客のブランディング・商品やサービスの高付加価値化
- ・ 顧客の業務における業務改善・経費削減
- ・ 顧客のスピード感のある事業実現

上記を実現することで

- ・ マーケットの拡大
 - ・ 目標売上の確保による、社内への還元（人事、インフラ整備）
 - ・ 市場エリアの拡大
- を得ることが出来ます

NEXT 2025
未来につなぐ
新たな
経営理念と方針

経営理念 corporate identity

グループが何のために存在するか

地域の未来を創る


経営方針 corporate vision

グループの組織としてなりたい姿

クリエイティブを通じて地域
に貢献し、お客様だけでなく
社員とその家族の物心両面を
豊かにする価値創造企業

経営目標 corporate mission

グループが目指すべき方向性



お客様だけでなく、 地域に感動を与える人づくり

企業は人です。

いかにお客様にとって想像を超えるサービスやものづくりを行い、感動し、喜んでもらえるかを常に考え続ける人財。それはお客さまだけでなく、社員同士、地域社会に対しても、相手に同じように感動し、喜んでもらえることができる人づくりを行います。



想いが伝わるモノづくりと 企業ブランディングの向上

感動レベルのモノづくり

印刷を核とした様々な媒体への情報発信の仕組み、情報加工の技術向上に努めることで常に安定した品質と感動レベルのモノづくりを行います。また、地域社会とお客様の役に立つ技術と仕組み・サービスを提供し続けることで、一人一人の成長につながり、モノづくりへのやりがいを感じることから自己実現、働き甲斐と誇りを醸成することによって企業価値を高めます。



新たなことへ挑戦と実践力

常に新たなことに取り組む挑戦する力

お客様への満足を実現していくために、新たな取り組みに常に挑戦し続けるその実践力が重要です。お客様への理解が深いサービス内容を提供、提案を積極的に行い、満足度を高める。実践を繰り返し、常に挑戦し続ける姿勢と行動力によって営業のサービスレベルを向上していきます。



財務と組織力のさらなる強化

3社グループの高収益化をめざすために、財務体制、働きがいのある組織力の強化を行うことで、経営基盤をより強固で盤石なものにします。

目指す人的資産

当社において価値を産む最重要資産をさらに強化

お客様の求める要望に際し、真の課題を見つけ出し、課題解決に向けた提案やチャレンジを行う人材が集うクリエイティブ集団に。

それぞれのスキルのレベルアップや技術やノウハウの標準化を行い、生産性だけでなく創造性を高める人材になることで県内においての独自性と優位性を持った企業を目指します。

音成印刷のスタッフ一人一人が有する特化したスキル

- 顧客のニーズに細かく対応する営業力
- 他社にはない情報加工の企画プランニング力
- デザイン・クリエイティブスキルを持った人材
- 自社対応が可能な、カメラとライティングスキル
- お客様の原稿の推敲を可能にする校正力
- 印刷品質を担保できる印刷現場の職人



共創

人材育成において注力をするポイントは共創。

標準化によるベースのスキルアップだけでなく、各自の得意なところを伸ばし、技術を相互補完し、チームとしての総合力を高めます。

目指す組織資産

共創プラットフォーム企業として未来へ繋ぐ技術と想いを継承

次の200年に向け、未来を創る企業としてより企業理念や共創を浸透させ、蓄積ノウハウだけでない想いや理念を次の世代へ繋いでいけるような組織づくりそのためのスタッフたちが未来を描けるような組織づくりを行います。

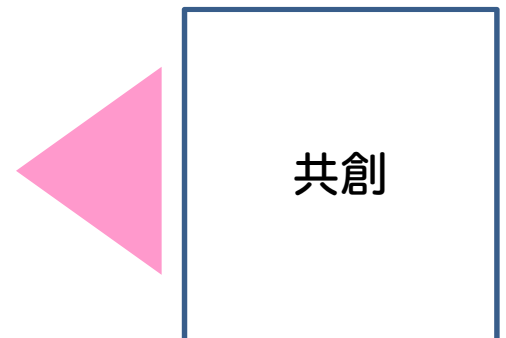
音成印刷に長年紡がれてきた企業文化

- 地域に根差した企業理念
- 会社の人々の在り方を明文化したクレド
- 人づくりを支えてきた6S活動
- 難しいことに常に挑戦する社風
- お客様の要望課題に常に応える組織力

営業：これまでの積み重ねた経験に基づく各部署への気配りとスケジュール管理

制作：一人では不可能な仕事を可能にする組織力

工場：短納期を可能にするチームワーク



人的資産を強化するだけでなく、企業として次につなげる組織力を高めるために共創プラットフォーム企業に進化する。

作成日：2021年1月

作成責任者：株式会社音成印刷 専務取締役 音成信介

本知的資産報告書の作成にあたり、本書記載内容につき、その客観性を維持し内容の向上を図る主旨から、次に掲げる経営革新等支援機関の支援により作成されています。

- 小城商工会議所
- 株式会社佐賀銀行小城支店
- 一般社団法人佐賀県中小企業診断協会